



令和3年度
学校便り
6月号

清流

ほぼたく
吉尾小！
大作戦

芦北町立吉尾小学校
校長 徳成 聡
令和3年6月16日

心のきずなを深める月間

6月は、「心のきずなを深める月間」です。県下全域での取組です。サブテーマが「～いじめを許さない学校・学級を目指して～」です。幸いにして、吉尾小学校では、「いじめ」の状況は見られません。子供たちへのアンケート調査でも「いじめ」の訴えはありません。ただ、「いじめ」は、どこの学校でも、誰にでも起こる可能性があります。アンケートの結果を鵜呑みにせず、「もしかしたら」という気持ちで、子供たちと接していかなければならないと考えています。

先日、全校集会で、私から子供たちへ、話をしました。話の主な内容は、右の8点です。全部で、15枚のスライドを使って話をしましたが、その中の2枚を下に載せています。左が⑥について、右が⑧についてのスライドです。

- ①「ことば」は簡単に人を傷つける道具になる
- ②人を「傷つけること」「傷つけられること」(体も心も)が「いじめ」である
- ③「いじめ」は相手の命も自分の命も大切にしていない
- ④「いじめはダメ」とみんな知っているけど「いじめ」はなくなっていない
- ⑤県内の約20%の小学生が「いじめられたことがある」と回答
- ⑥なぜ、「いじめ」をするのか(原因)
- ⑦自分が人をいじめないようにするためには
- ⑧もし、自分がいじめられたら

では、なぜ、いじめをするのか？

- ①自分と「ちがう」ところを みとめられない
- ②イライラすることがあって、それをぶつける
- ③自分がいじめられないように
- ④おもしろはんぶん(相手がわらっているから)

もし、自分が、いじめられたら どうするか？

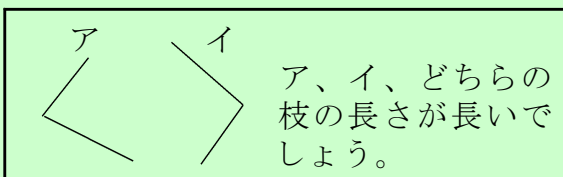
- ①だれかに言う(「そうだん」する)
→早いほうが言いやすい
→先生、おや、じいちゃん、ぼあちゃん、ともだち、
- ②にげる、学校を休む
→いじめは「ひとをきずつける」ことを わすれない
→「命」よりだいじなことはない
→がまんしない にげていい

⑧の「もし、自分がいじめられたら」については「誰かに言う(相談する)」「にげる、学校を休む」と話しました。

話をしながら、「私たち大人が、普段から子供たちの話をしっかり聴き、様子を見ていくことが大切だ。」と思いました。保護者や地域の皆様のご協力をいただきながら、子供たちが安心して登校できる学校をつくっていきたいと思います。よろしく願い致します。

子供が主体的になる授業のために

2年生での取組



子供が見た目で予想し、その予想が正しいかを確認するため、長さ(cmとmm)の足し算をすることが必要となり、主体的に取り組んでいきました。

6年生での取組

$$1 \div 4 \times \square = 1 \text{ となる } \square \text{ は何?}$$

子供はすぐに「4」を発見し、その後 $1 \div 5 \times 5$ など、積が「1」になる組を18組発見しました。

ここで $3 \div 4 \times \square = 1$ を示され、「分子が1でないときもできるのか？」という疑問をいただき、「逆数」について主体的に取り組んでいきました。